

# じぞうくんのそぼくな疑問



かもくんが本の裏側を見ながら不思議そうな顔をしています…



じぞう：さっきから本の裏側をずっと見てるけど、どうしたの？

かも：どうして本にはバーコードが2個付いているのかな？ふつうは値段のバーコード1個だけだよ。

じぞう：ああ、それはISBNのバーコードだね。

かも：ISBN？何それ？

じぞう：ISBNはInternational Standard Book Numberの略称で、国際標準図書番号っていうんだよ。本を識別するための国際的なコードなんだ。日本では1981年から導入されているんだよ。

かも：へえ～。本もマイナンバーを持っているんだね。

じぞう：そうだね。

ここでちょっと豆知識。図書館の本のほとんどは「4」か「978-4」ではじまっているんだ。この数字の「4」は国別記号で「日本」を表しているんだよ。日本語で書かれている本は「4」か「978-4」の数字で始まっているんだ。ちなみに「0」、「1」は英語、「2」はフランス語、「3」はドイツ語で書かれた本なんだ。他にもどの出版社から発売されているかなど、番号から色々な事がわかってしまうんだよ。

## じぞうくんが紹介した本はこちら

『記号のポケット図鑑』

児山啓一／監修 あかね書房 2020.12

【Y 801.9 キ】

『本のことわかる本 2』

稲葉茂勝／文 能勢仁／監修 ミネルヴァ書房

2015.8 【020】

『番号は謎』佐藤健太郎／著 新潮社 2020.8

駒込・目白図書館所蔵

『まるわかり記号の大事典—調べて楽しい2000種以上の記号がびっしり—決定版』

太田幸夫／監修 くもん出版 2018.12

中央・駒込・目白図書館所蔵

# 4月の行事

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
新刊お話し会	休館					
9	10	11	12	13	14	15
新刊お話し会						
16	17	18	19	20	21	22
新刊お話し会		赤ちゃんお話し会				
23	24	25	26	27	28	29
新刊お話し会					休館	
30						
新刊お話し会						

すがも自然絵巻 春制作会があります。出来上がりを楽しみに

<日曜> 新刊本を出します。新刊コーナーにご注目！毎週11時から、幼児から小学生低学年向けのお話し会があります。

<火曜> 第3火曜日11時から、赤ちゃん向けお話し会があります。

## 編集後記

2022年度最後の「すがもらいぶらり」楽しんでいただけましたでしょうか？

次年度企画も楽しみにしててください。ご愛読ありがとうございます！

(M)

# すがもらいぶらり

2023年3月1日 栄鴨図書館発行

さがしてください ~栄鴨図書館のどこかにあります~

1



いつかがーでんの看板が欲しいと思っていた管理人の夢がかないました！

2



伐採した桜の枝でできています

3



ヤックルは、伐採した桜の枝とすがもがーでんで採れたとうがらしてできています！

4



リサとガスパールのしっぽがかわいい！そして座り心地の良さそうな椅子

1. 大塚駅方面から歩いてくると真正面に見えます
2. 児童コーナー「新刊本」棚の上
3. 入口にある「図書館からのおたより」コーナーの上
4. 児童室の書架の上



じぞうくん いくつ探せましたか？どの作品からも作り手の愛情が感じられますが、それが誰なのかが、最後のクイズです。

「正解は、H館長」数々の素敵な作品、ありがとうございました

イラスト作 S

# 食いしん坊司書の部屋



**お店探訪記**  
本の味を確かめて  
きました！

2022年度の締めくくりは、食いしん坊司書Mの、『本を書いている方の実店舗訪問記』です。

①西荻窪には、食いしん坊のアンテナに触れるお店が多々あります。焼き菓子もハイグレードですが、こちらのお店の**アメリカンの大胆さの中にフランスの繊細さがちょこっと入った感じ**はお薦めです。きれいな箱に入った各種クッキーは、手土産にぴったり。

②言わずとした鎌倉のジャムの名店の支店が学芸大学にあります。**パッケージもかわいらしく、クッキー類は1枚単位で買える**ので、色々な味を楽しめますよ。

③「歩粉」というこちらのお店は、かつて恵比寿で人気店だったそうです。コロナを機に少し京都に移転されましたが、新刊書を出された時の記念イベントの際、東京で作りたてをいただくことができました。**作り手のお人柄が表れる優しいお味に大満足**。つい先日同僚が京都のお店に行ったそうですが、とても良かったとのこと。いつか行きたい！

④初めて行った時、働いている人の笑顔と活気に元気をたくさんもらいました。味ももちろんお墨付き。以来、このお店でエネルギーチャージをするのが、ルーティンに…**自分たちが作っているもの、自分たちのお店が大好きだという空気があふれている**大好きなお店です。

⑤最後はお店ではなくお料理教室。この本の著者、丸山先生のお料理教室には食いしん坊が集まってきます。長く住んでいらしたという**スペインのお話を聞きながらの、一味違ったお教室**です。(M)

## 紹介した本

- ①『エイミーズ・バイクショップの焼き菓子』  
吉野陽美／編 学研プラス 2015.1  
【596.6 ヨ】
- ②『romi-unieのスコーン+ジャムとクリーム』  
いがらしろみ／著 主婦と生活社【596.6 イ】
- ③『朝食おやつ』 磯谷仁美／著 文化出版局  
2014.12 【596.6 イ】
- ④『季節のくだものてつくる焼き菓子』  
嶋崎加かつこ／著 柴田書店 2021.12  
【596.6 シ】
- ⑤『修道院のお菓子』 丸山久美／著 扶桑社  
2020.2 【596.6 マ】

# 百名城めぐり PART V <江戸城>



江戸城再建の計画もあるようですが、今は1/30のミニチュアが本丸休憩所増築棟にあります。



大手町のビルの中にあります。小鳥がさえずり、大都会と思えないほど。



富士見櫓



唯一、ここに江戸城があったと思わせる建物です。



赤穂浪士で有名な松の大廊下。



浅野内匠頭の無念が感じられます。

今回は、今年の大河ドラマの主演、徳川家康の江戸城を紹介しましょう。

江戸城は、家康が造ったように思われますが実は太田道灌が築城し、小田原攻めが終わった際に、豊臣秀吉から関東への国替えを命ぜられた家康が大規模な改修を行った城です。城郭の広さは日本一で、千代田区がすっぽり入るほどです。

家康は、国替えの際に小田原・鎌倉を本拠地にすることもできましたが、寒村だった江戸を本拠地にしました。もし彼が江戸の持つ潜在的な能力（干拓による住居地の造成・用水と水道網成による都市化と農業振興、堀・水路を用いた水運による流通）を見抜いていたとしたら先見の明があったと言えるでしょう。家康は天守閣を設け、秀忠、家光も改築を行い慶長、元和、寛永と三度にわたり造り変えられましたが、明暦の大火で焼失しました。

その後、天守台（富士見櫓）は再建しましたが、既に徳川幕府の足固めは終り世の中を平定したと判断し、天守閣の再興より町の復興を優先して、明治時代に至る約270年の間、天守閣は再建されませんでした。

その後、江戸末期、勝海舟と西郷隆盛の会談によって江戸城は無血開城され、明治以降は皇居として天皇家の住まいとして今に至っています。

現在、皇居東御苑は一般に公開されていて、富士見櫓や天守台、松の大廊下跡、大奥跡を見ることができます。毎週水、土曜日の午前と午後に宮内庁OBボランティアによる無料ガイドツアーが実施されていて、興味深い説明を聞くことができます。

是非一度、高層ビルに囲まれた都会のオアシスに足を向けてはいかがでしょうか。(K)

## おすすめ本

- 『新発見!江戸城を歩くーヴィジュアル版ー』  
黒田涼/著 祥伝社 【213.6 ク】
- 『図説江戸城の見取り図ー失われた「天守閣」から「大奥」の人間模様までが蘇るー』  
中江克己/著 青春出版社 【521 ナ】
- 『江戸の城づくりー都市インフラはこうして築かれたー』  
北原糸子/著 ちくま書房 【521 ク】
- 『江戸城と将軍の暮らし』  
平井聖/監修 学研 【X210.5 ス】